



尼崎市



DATA

【人口】 455,475 人 (R4.12.1現在)
【面積】 50.71 平方キロメートル
【職員数】 3,227 人 (R4.4.1現在)

《発表のテーマ》

水と共に生きる

＜発表概要or今年の特徴＞

日々の業務を行う中で
“ほんまにこれでいいんかな？”と感じる素朴な疑問について、深く追求した結果に纏わるお話。

＜改善運動の特色やアピールポイントなど＞

実績のある方法を変更する過程で、内部や関係機関との調整を粘り強く行い、より適した新たな方法を提案し採用に取り付けた。

＜メッセージ・意気込み＞

- (1)騒音振動の減
 - (2)工事期間の減
 - (3)工事費の減
- ▶ オープン工法を採用
この間の人件費も減！
詳しい内容は発表会で



阪神タイガース 2軍本拠地が尼崎市に移転決定

部署名

都市整備局 河港課

タイトル

水と共に生きる

改善前
【Before】

尼崎市では、大雨等でよくあふれる、とある川の工事を約20年前から実施しています。

まちなかの川の工事は、地域住民の安全・安心を守るために必要不可欠ではあるものの、工事中の振動による家屋の揺れや騒音などで地域住民へ不快感を与えることも多々あり、苦慮しながら工事を進めてきました。

今年度より工事に着手した区間においては、これまで以上に川と家屋が近接していたり、家屋密集により工事車両の進入路が限定されていることから、これまでと同じ方法では地域住民の生活への影響がさらに大きくなることが予想されました。

取組内容

【地域住民の不快感軽減を目指して】

- ・ 今回の現場に適した特殊工法(オープンシート工法)を提案
- ☞ これまでの方法(矢板護岸工法)で工事をする計画となっていたが、周辺家屋の揺れや騒音を軽減し得る“より良い”方法を模索・提案
→ 採用に取り付けた

どうせなら・・・(いきた結果、何回か泣きました)

【工事の早期完成と工事費の削減を目指そう！】

- ・ 残りの工事区間をまとめて発注
- ☞ 同一業者が工事することでノウハウを蓄積し、工事が円滑化
→ 早期完成を実現
- ☞ 特殊工法を採用し、早期完成することでかかる経費を減らす

効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

無くなった！！ (作業によっては発生することもあるが・・・)

☞ 振動・騒音の発生を大幅に改善 笑顔が増えた☺

早くなった！！ (早期完成で早期の事業効果)

☞ 工期を約7年短縮 11年 → 4年

安くなった！！ (けっして安くは無いが、かなり安くなった)

☞ 工事費を約6億円削減 約15億円 → 約9億円